本VSネット記事

さて、今回の動画では、本（紙媒体と電子書籍版）がネット記事に勝る理由をつご紹介したいと思います。

１．本の方が文章を飛ばし読みしない

データで証明されているのが、紙媒体の本の方が電子機器で読む読物よりも、文章を飛ばし飛ばしにして読んだり、ざっと全体を読む（スキミング）する事が少なくなると言う事です。

そして、飛ばし飛ばしで読む事VS全文を読む事で出てくる大きな違いが、理解の違いです。飛ばし飛ばしではより高い確率で大事な情報を見逃したり、何かの情報をサポートする情報を見逃してしまい、深い理解に及ばない確率が高くなります。

理解は深ければ深いほど良いと言う事を私は推奨しています。何故なら、その知識を使いこなせる幅が広がるでしょうし、同時に使える範囲の限界を知る事にも居たり、日常生活からビジネスのあらゆる場面で効果的にその知識と言う道具を使いこなえるようになると思うからです。

もちろん、ネット記事を印刷して紙媒体として読むと言う方法はございますが…

２．本の方が情報の質がより確実

誰でもブログやらネット記事を発行出来る時代だからこそ、ゴミのような役に立たない記事が萬栄する確率も上がったわけです。その分、出版された本の方が情報の質が高い確率が高いと思うわけです。何故なら、本の出版と言うのはリサーチから編集など、記事を書くよりも深く行われがちですし、出版費用も掛かるわけで、それなりに自信のある情報や役に立つと言う質が証明された上で出版しようと思う人が多いでしょうので、名誉もお金も時間も掛かり、質の高い物を提供する動機になりやすでしょうので。

３．本の方が時間を節約できる

何か知りたい題材があったとして、Googleしますと、色んな記事が出てくるわけです。ゴミのような物もあれば、良い物もある。その、良い物を掘り起こす作業に意外と時間を取られていると思うわけです。

さらに、電子機器を使っていると様々な誘惑があり、役に立つ情報を探していたはずが、いつの間にか世界の不思議を特集したサイトやプロ野球のニュースを見ている事がよくあったりすると思います。

その反面、本であれば、記事を漁る時間が節約出来て、確実にそれなりの情報を手に入れる事が出来るわけです。

その節約出来る時間を本の購入費用と考えたら、長期的に見たら安上がりではないかと思うのです。

使用料は掛かるが、短時間でほぼ確実にお宝を掘り当てる犬と、当たり外れが激しく、当たりまでに時間が掛かる事が多い犬であったら、あなたはどっちを使いますか？